

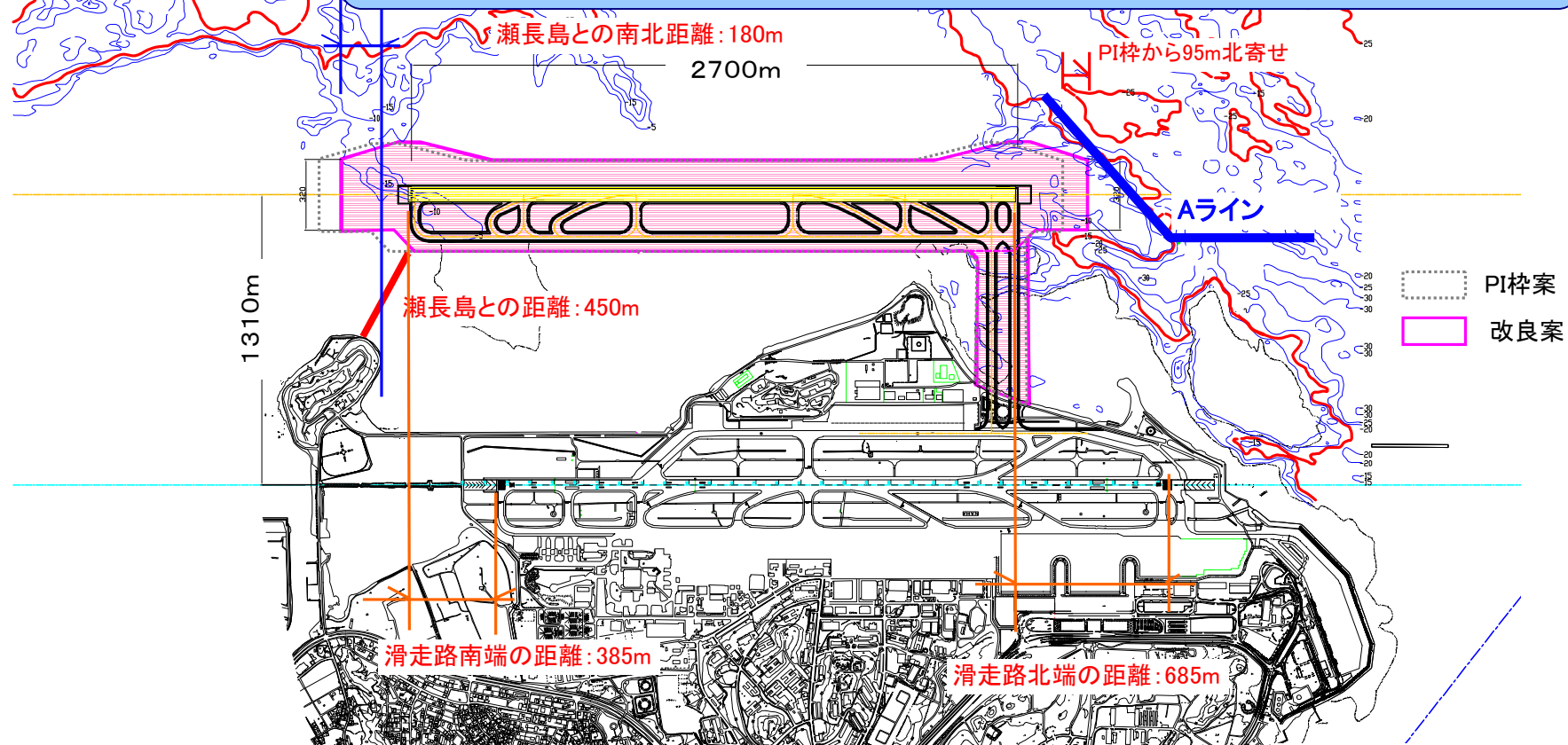
滑走路増設案図面

「4. 滑走路増設案修正の方向性の検討」を踏まえた案

資料7 参考資料2

滑走路間隔1310m

○総合的な調査段階で提示した滑走路増設案について、前提条件変更に伴う修正を行う。また、円滑な交通流を確保するため、増設滑走路と連絡誘導路を適正な位置で取り付けられるよう、増設滑走路本体のみを北側に寄せるものとする。



滑走路増設案図面

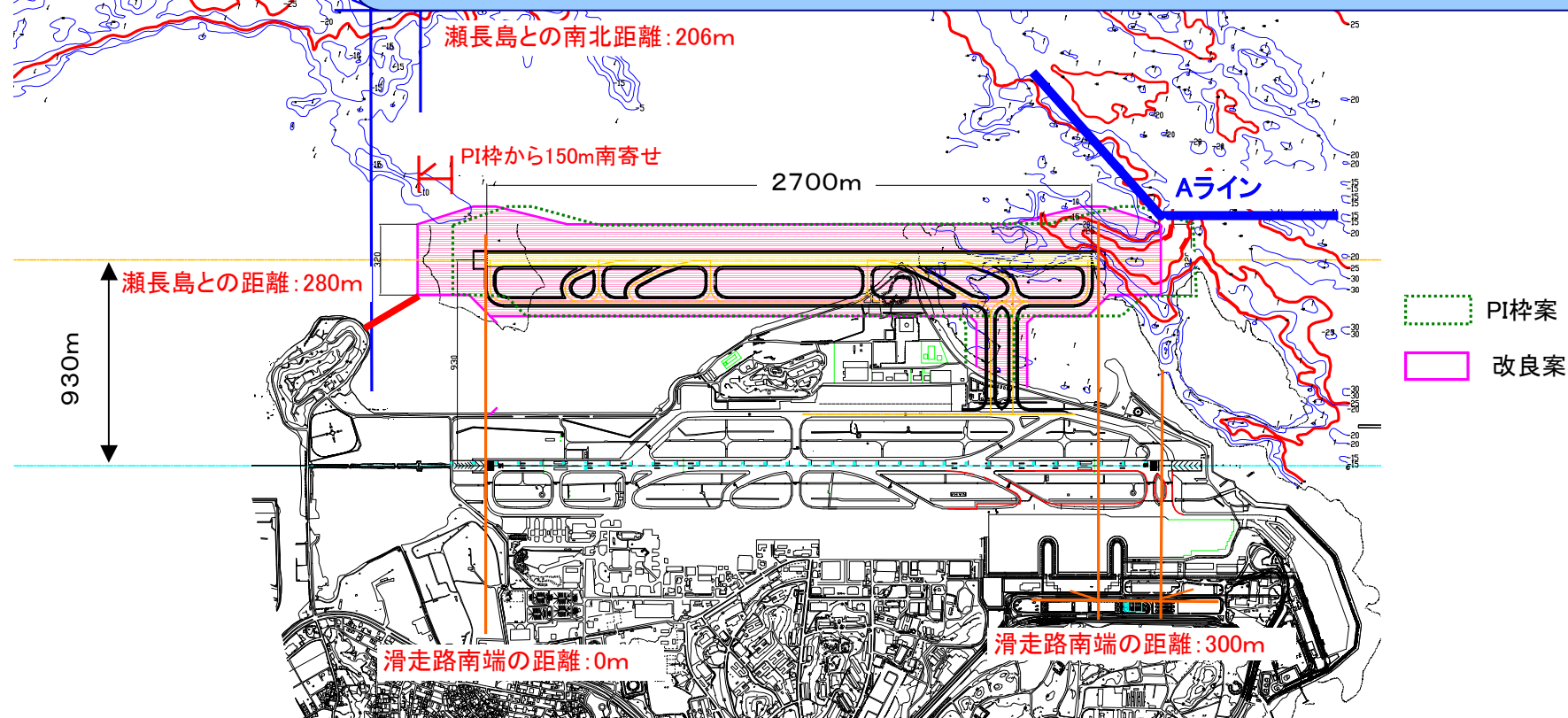
「4. 滑走路増設案修正の方向性の検討」を踏まえた案

資料7 参考資料2

滑走路間隔930m

○総合的な調査で提示した滑走路増設案について、前提条件変更に伴う修正を行う。また、概算事業費が最も高価となっているため、瀬長島と配置案との間の潮流の流速増加域が大きく変化しない範囲（リーフ内に流れ込む東向きの流れが瀬長島に当たって、北東向きに変わる流れを阻害しないよう）で南側に寄せるものとする。

○円滑な交通流を確保するため、連絡誘導路の位置を北側に寄せるものとする。



滑走路増設案図面

「4. 滑走路増設案修正の方向性の検討」を踏まえた案

資料7 参考資料2

滑走路間隔210m

○総合的な調査段階で提示した滑走路増設案について、前提条件変更に伴う修正のみを行い、配置位置については変更しない。

